

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年8月6日 (2015.8.6)

【公開番号】特開2014-221052(P2014-221052A)

【公開日】平成26年11月27日 (2014.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-065

【出願番号】特願2014-129350(P2014-129350)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 14/025 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/21 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 0 7 K 14/025

C 1 2 P 21/02 C

A 6 1 K 39/21

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月19日 (2015.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 2 で示されるアミノ酸配列からなる H P V 4 5 L 1 タンパク質をコードするヌクレオチド配列からなり、核酸配列が酵母細胞における高レベル発現のためコドン最適化されている、核酸分子。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の核酸分子を含むベクター。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のベクターを含む宿主細胞。

【請求項 4】

( a ) 請求項 1 に記載の核酸分子で酵母を形質転換すること、

( b ) 組換えパピローマウイルスタンパク質を産生するために、前記コドン最適化核酸

分子の発現が可能な条件下で前記形質転換された酵母を培養すること、および

(c) HPV45 VLPを産生するために、前記組換えパピローマウイルスタンパク質を単離すること、

を含む、HPV45 ウイルス様粒子 (VLP) を産生する方法。

【請求項5】

酵母が、サッカロミセス セレビスエ、ハンゼヌラ ポリモルファ、ピキア パストリス、クルイベロミセス フラギリス、クルイベロミセス ラクチス及びシゾサッカロミセス ポンベからなる群から選択される、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

酵母がサッカロミセス セレビスエである、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

組換えHPV45 L1タンパク質を含むヒトパピローマウイルス 45 (HPV45) ウイルス様粒子 (VLP) であって、HPV45 L1タンパク質が配列番号2に示すアミノ酸配列からなり、酵母において産生される、HPV45 VLP。